

# 事業概要 【デジタルミュージアム(科学館、近代文学館・メルヘン館)事業】

自治体名	鹿児島県鹿児島市	人口	591,544人	事業費	110,504千円
事業概要	<p>市立科学館の館内を巡る際にモバイル端末のアプリで展示物を見て回る付加価値を加えることで、学習意欲の向上や科学館の魅力向上を図る。</p> <p>かごしま近代文学館・メルヘン館の収蔵資料をWeb公開することにより、本市の文化や魅力を地域内外に広く発信するとともに、来館意欲及び文化芸術への関心向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【科学館デジタルミュージアム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>展示物と連携した専用アプリによる解説・クイズ</li> <li>アプリ体験によるアプリ内でのアイテム収集</li> <li>収集したアイテムで作成したものを他者と共有</li> <li>来館履歴、体験ログの確認</li> <li>学校配布のタブレット端末で利用可</li> <li>デジタル技術を活用した体験型展示</li> </ul> <p>【近代文学館・メルヘン館デジタルミュージアム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クラウド型資料管理システムへの移行</li> <li>収蔵資料データベースのWeb公開</li> <li>収蔵資料管理</li> </ul>		<p>科学館</p> <p>鹿児島市立科学館</p> <p>カメラで読み取り</p> <p>アイテム獲得等</p> <p>解説・クイズ</p> <p>インタラクティブコンテンツ展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>惑星ごとの重力の違いを体を動かして学べる展示物</li> <li>太陽の構造や仕組みを直感的に学べる展示物</li> </ul> <p>クラウド型資料管理システム</p> <p>収蔵資料登録・管理</p> <p>収蔵資料データベース</p> <p>収蔵資料公開</p> <p>近代文学館・メルヘン館</p> <p>近代文学館・メルヘン館</p> <p>住民等</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①科学館専用アプリへのアクセス回数</li> <li>②近代文学館・メルヘン館のデータベースへのアクセス数</li> </ol>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①科学館デジタルミュージアム利用者の満足度</li> <li>②近代文学館・メルヘン館への来館者数</li> </ol>		

サービス名	科学館デジタルミュージアム	事業費	108,103千円
ターゲット	市立小中学校の児童生徒及び来館者		
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・鹿児島市科学館のテーマに基づいてアプリ独自の体験ストーリーを設定しユーザーを館内へ誘導し、回遊させる</li><li>・ユーザーの来館ログ、学習記録、体験記録のログを残せるよう、ユーザー認証システムを導入する</li><li>・館内展示物とQRコードまたはNFC等の電子タグまたはARマーカで連携し、館内展示物に対応した以下のコンテンツ機能を有する<ul style="list-style-type: none"><li>(1)展示解説の閲覧※館内掲載解説よりもより詳細な解説や理解を深めるための画像表示、映像視聴を可能とする</li><li>(2)クイズ※展示内容に沿った出題やゲーム性のある体験を通じてより科学原理を理解する</li><li>(3)体験した展示物数、クイズの得点に応じてユーザーはアイテムを獲得、貯蓄できる</li></ul></li><li>・獲得アイテムを集めて合成し、新たなアイテムを生み出す。表示を可能にする</li><li>・生み出した新たなアイテムをユーザー同士が共有できるフィールドに置くことができる</li><li>・ユーザーがアカウントを管理するための以下の機能を有する<ul style="list-style-type: none"><li>(1)ユーザーネームの入力・修正</li><li>(2)来館履歴、体験ログの確認</li><li>(3)取得アイテムの確認</li></ul></li> <li>・惑星ごとの重力の違いを体を動かして学べる展示や太陽の構造や仕組みを直感的に学べる展示など、インタラクティブコンテンツを用いた展示を設置する。</li></ul>		

サービス名	近代文学館・メルヘン館デジタルミュージアム	事業費	2,401千円
-------	-----------------------	-----	---------

ターゲット	文学や人形に興味のある地域内外の利用者及び学校		
-------	-------------------------	--	--

サービス内容			
--------	--	--	--

- ・新たな利用者やリピーターを獲得するため、近メルの収蔵資料を誰もがいつでもどこからでも収蔵資料に触れ、学ぶことができる環境をつくり、また、収蔵資料を通じて来館意欲を高めるために、収蔵資料をWeb公開するための整備を行う。
- ・整備にあたっては、新たなシステムを一から構築するのではなく、近メルの既存の資料管理システムを活用し、登録資料をWeb公開できる機能が標準装備されたクラウド型資料管理システムに移行させることで、住民にとってスマホでも24時間365日閲覧が可能となり、現在別サイトで公開している110点から10万8千点までWeb閲覧できる資料が増えるなど住民にとっての裨益が見込まれることに加え、職員の作業時間や整備に係る費用を効果的に抑えることが可能なため、クラウド型資料管理システムへの移行を行う。

### 【クラウド型資料管理システムへの移行】

- ・データベースシステムは、登録から管理、公開までの一連の作業を自分たちで実施できるクラウド型システムに移行する。
- ・近代文学館（鹿児島ゆかりの作家28人の著作物、原稿、愛用品や文学に関する図書など）約9万9千点
- ・メルヘン館（世界の民族人形、日本の郷土玩具など）約9千点

### 【収蔵資料データベースの公開】

- ・収蔵資料を適切に管理するとともに、インターネットを通じて公開することにより、地域内外における学習機会を増やすとともに、資料へのアクセスも容易にできるようにする。

### 【収蔵資料管理】

- ・収集、展示、貸出等の業務データ管理用として活用する。

